

TOWNS TOPICS



豊里

和やかながら熱戦繰り広げ 7月24日

ふるさとスポーツ祭豊里地区大会は、豊里運動公園で開催されました。大会は、グラウンドゴルフとターゲットボードゴルフ、ユニカールの3種目で競われ、32チームが出場しました。

各競技とも、和やかにプレーする姿が印象的でした。ターゲットボードゴルフでは、完璧なショットでホールインワンが出ると大きな歓声も上がり、楽しみながら熱戦が繰り広げられました。

9つのまちのホットな話題をお届けします

大規模地震に備え訓練実施 6月26日

登米市米山地区防災訓練は、吉田運動広場で開催されました。訓練は、宮城県沖を震源とする大規模地震の発生を想定したものです。

災害対策本部の設営や避難所の設置訓練、中心部である西野地区からの避難誘導訓練など、町をあげての大規模なものとなりました。同時開催となった市消防団米山支団の消防演習では、小型ポンプ操法競技と小隊訓練競技が行われ、第6分団(追土地・清水・的場行政区)が優勝しました。



米山



迫

野外炊さんでピザ作りに挑戦 7月27日～28日

迫地区3小学校の5・6年生を対象とした「迫っ子サマーキャンプ」は、国立花山青少年自然の家で開催されました。31人が参加し、迫町ジュニアリーダーと、チャレンジランキングやキャンプファイヤーなどを通して交流しました。

野外炊さんではピザ作りに挑戦し、生地を練り、それぞれに工夫したトッピングのピザをドラム缶の窯で焼きあげました。児童たちは「生地がフワフワでとてもおいしかった」と話していました。



石越

元気なあいさつつながる輪 7月15日

青少年のための登米市民会議石越支部によるあいさつ運動は、石越小学校前など町内5箇所に分かれ、実施されました。当日は小・中学校の児童、生徒、教師の協力の下、石越支部役員、地区推進員など、約60人が運動に参加しました。

街頭では、学校、地域、家庭での「あいさつでつながる輪」を働きかけました。登校中の児童、生徒から、大きな声であいさつが返ってくるといくつもの「輪」ができていました。

住宅火災無火災 500日達成 7月1日

登米地区が、6月21日で住宅火災無火災500日間を達成しました。このことから、登米市婦人防火クラブ会長が登米支部婦人防火クラブ(後藤久美子会長)へ褒状を贈りました。

褒状は、住宅火災の無火災継続期間が基準日数に達し、火災予防の普及啓発が、模範と認められた支部に贈られます。後藤会長は「今後は無火災千日を目指し、火災予防の声がけをしていきたい」と決意を述べました。



登米

動物と触れあい暖かさ学ぶ 7月5日

動物ふれあい教室(登米保健所主催・登米市共催)は、西郷幼稚園で開催されました。

この教室は、動物愛護思想の普及啓発に関する事業の一環で、子どもたちが小動物とふれあうことで、適切な接し方や命の暖かさについて学び、生き物を愛する心を育むことを目的に開催されました。

当日は、西郷幼稚園の園児11人が参加して、犬などを抱いたり、なでたりして命の暖かさを感じていました。



南方



東和

2年後、中学校でまた会おう 7月21日

東和地区3小学校5年生の合同合宿は、花山青少年自然の家を会場に2泊3日で開催されました。この事業は、旧町時代から30年以上続いており、今年は、児童41人が参加。

児童たちは、野外炊さんや沢登り、ジュニアリーダーのダンス指導で親睦を深めました。キャンプファイヤーでは弾き語りシンガールの伴奏でフォークソングを合唱をしたり、ダンスやゲームをしたりして盛り上がりました。2年後の中学校入学に向けて、仲間の輪が広がりました。



津山

小学生が陶芸作品作り挑戦 7月28日

森の子ども陶芸教室は、津山陶芸館で2日間開催され、津山地区の小学生26人が参加しました。

陶芸教室は、芸術文化活動を通して心豊かな子どもを育てることを目的に、毎年開催。初日が低学年、2日目が高学年を対象に、陶芸制作の基礎から色付け、完成までの工程を学びました。

子どもたちは、使い慣れないろくろに苦戦しつつも、思い思いにいろいろな形の作品作りを楽しみました。

事故凍結に向けアイス作戦 7月30日

夏の交通事故凍結(アイス)大作戦は、国道346号線宝江黒沼十字地内で開催されました。この事業は、中田町交通安全団体連絡協議会が夏の交通事故防止運動の一環として実施したものです。

交通事故を凍結しようと、アイスシャーベット500本とチラシを通行車両に配り、事故防止を呼びかけました。当日はとて暑く、アイスシャーベットを配られたドライバーは「交通事故に気を付けます」と笑顔で話していました。



中田